栃木で桧4㍍中目が急騰

出材本格化で製材の買い気強まる

北関東の原木価格

栃木県で杉・桧の原木価格が上昇した。10月下旬から強含み、12月に入っても上値を保っている。なかでも桧の4㍍中目が最も強く、10月上旬までの2万2000円前後（立方㍍、市場渡し）から足元で2万5000～7000円前後まで値上がりした。そのほか、杉・桧の各サイズも10月上旬から1000円前後上昇した。10月下旬から天候が安定して新材の出材が増加し、製材工場が買いに入った。茨城や福島でも桧を中心に強含んできた。

栃木県の杉は夏場から3㍍柱取りが1万6000円前後（同）で推移したが、10月末から1万7000円前後に上昇した。地域によっては1万8000円近くまで値上がりしている。

同4㍍中目は1万4000～5000円だったが、10月末から1万7000円前後へと2000～3000円高。足元では地域によって上値が1万9000円前後まで急騰した。

90㍉角母屋取りの細丸太は杉・桧ともに間伐から皆伐への移行で出材が減り、ここにきて製品の品薄感が強まってきた。杉の原木価格は長らく1万6000円前後の高止まり状態で、こちらも11月に入って1万6500円前後と強含んでいる。

地域によっては11月に入るまで、天候不順で長期在庫できる新材の出材が本格化しなかった。そのため、製材工場によっては原木在庫が7日分まで減少するほど不足感が強まっていた。なかでも台車の帯鋸盤で役物を挽く製材工場などが上値で手当てし、一般製材の工場も追随した。

栃木県内の製材工場は良材が出る県内で買いを強める傾向にあるため、茨城や福島では価格がさほど連動していない。ただ茨城や福島でも出材増ながら価格は総じて横ばいだが、品目によっては強含み始めている。

一方桧は、品目によらず年初の3万円前後から、夏場にかけて2万円前後まで値下がりした。そのため素材業者が出材を減らし、10月半ばまで需給価格は2万円前後で均衡していた。

桧専門の製材工場は春までの寒伐り丸太の在庫が8月ごろまでになくなり、その後は当用買いが続いていた。白太の桧は寒伐り丸太でも8～9月ごろになると割れや傷みが出てくるため、夏までに使い切る必要がある。そのうえ夏場は虫害などで材質が下がるため、新材が出てくる10～11月まで丸太在庫は低水準で推移した。

しかも今年は9～10月の天候不順により、ようやく10月下旬、地域によっては11月に入ってから新材の出材が本格化した。そのため、製材工場が買いに入り、価格が一気に跳ね上がった。特に4㍍中目は出材量が比較的少ないうえ、近年中目を挽く製材工場の生産量が増えている。

3㍍柱取りは10月下旬までの1万9000円前後から2万円前後に上昇。地域によっては足元で2万4000円前後まで急騰している。茨城でも地域によって瞬間的に3万円まで値上がりした。90㍉角母屋取りは2万4000円前後。一部製材工場は「買いを強めてもまだ在庫は足りず切羽詰まっている」と、当面買い気が収まらないことを示唆する。

長尺物（6m迄）小ロット
全国発送の決定版 ―全国22拠点―
メタル便
【扱い商品】
・木材
・建築資材
・鋼材
・輸入品
他
検索 メタル便

乾燥能力強化で協業

製材工場にウッド・ビー導入

シモアラ、フルタニランバー

シモアラ（石川県加賀市、下荒隆晴社長）とフルタニランバー（同金沢市、古谷隆明社長）は共同で、国産材製品供給促進の取り組みを開始した。フルタニランバーが県内の建設事業者や水処理事業者と3社共同で開発した高速木材乾燥技術「wood be（ウッド・ビー）」を、シモアラが自社製材工場の乾燥機として導入。自社製材品の乾燥に活用する。

今回の取り組みは、今春に両社が協力体制構築を検討したことから始まった。ウッド・ビー導入の工事は7月に実施、完了している。

取り組みの要である乾燥システムウッド・ビーとは、既存乾燥機内に設置した改質水製造装置と特殊石材・抗火石により乾燥能力を高める技術だ。抗火石を備えた造水装置に通常の水を通すことで、粒子が微細化した水に改質。この改質水を蒸気化し、乾燥機内の抗火石による遠赤外線効果を利用して改質水を木材に浸透させると、浸透した改質水の作用で木材内部の水分が細分化・気化し、木材が内側から乾燥する仕組みだ。

乾燥時間の短縮、木材の反りや割れの抑制といった効果が得られ、乾燥時の歩留まり向上や生産性改善、効率化による燃料費削減にもつながってくる。

ウッド・ビーを導入したシモアラ製材工場乾燥機にて、下荒社長(左)と古谷社長

ウッド・ビーを導入したシモアラでは、杉を中心に月間1200～1500立方㍍の国産材原木を製材している。乾燥のスピード化・効率化を図ることで現状月間約100立方㍍の乾燥能力を同150立方㍍まで高めたい考えだ。

同社ではウッド・ビー導入以降、乾燥能力・精度を最大限発揮するための調整を続けており、最適化の技術・知見が整った段階で本格運用に移る。

両社は運用後、2社連携による国産材製品の流通も検討する。

両社に共通する思いは、国産材や県産材製品需要への貢献だ。

フルタニランバーはウッド・ビーの仕組みを開発以降、国産材に関する問い合わせが増えた。だが同社の取扱製品は外材がメーンであることから、国産材の取扱強化の面でシモアラとの協業に期待する。古谷社長は「当社は杉の実績がまだ途上だ。今回タッグを組めたことで、ノウハウを蓄積したい」と意欲的だ。

シモアラでは月間製材量に対し、乾燥能力の強化が必要との認識だった。下荒社長は「市場に必要とされる量を、コストを抑えつつ供給するには、乾燥効率化が重要。ウッド・ビーを用いた乾燥での品質向上にも期待する」と話し、供給体制の確立を見据えている。

来年4月3日受注分から住宅用建材・設備値上げ

LIXIL

LIXIL（東京都、瀬戸欣哉社長）は6日、一部の住宅用建材・設備のメーカー小売り価格を来年4月3日受注分から値上げすることを発表した。

原材料価格の上昇が続くなか、同社は生産性の向上、合理化によるコストダウンや諸経費の削減を行い、製品原価の上昇を抑制してきた。しかし、原料価格の上昇は依然として収まらず、同社は製品の安定供給のため再度の値上げを実施する。

対象はトイレ1～17%（平均8%程度）、水栓金具3～27%（同6%程度）、キッチン5～10%（同5%程度）、洗面化粧台3～25%（同6%程度）。

集成材/CLT
木造建築/バイオマス
MK
銘建工業株式会社
〒717-0013 岡山県真庭市勝山 1209
TEL：0867-44-2695
https://www.meikenkogyo.com/

JPMA 日本合板工業組合連合会
古事記編さん 1300年
神々の國 島根
CERTIFIED JQA MANAGEMENT SYSTEM ISO 9001
JQA-QM9992
国産すぎ・ひのきで優れた性能の構造用合板
NISSHIN
島根合板株式会社
〒697-1326
島根県浜田市治和町ロ 895-2
TEL.0855-27-1625
FAX.0855-27-3685
E-mail:shimane@nisshin.gr.jp
URL:https://www.nisshin.gr.jp